



学校教育における 利用の手引き





アクアスを使いたおそう！

しまね海洋館アクアスは、水族館であり、博物館であり、社会教育施設です。県内の子ども達に様々な体験を提供し、学習を深める使命があると考えています。

小・中学校の教科書には、理科にとどまらず、国語科・社会科にまで数多くの水生生物や水環境が登場します。それらにみなさんが興味をもたれたとき、どのように当館を利用いただけるかをここにご紹介します。当館には水族館ならではの資料・情報・人材があります。学習のねらいに合わせて相談しながら、共に内容を組み立て、より深い学習につなげていきたいと考えています。



当館の体験活動は、パッケージにはなっていません。基本的にオーダーメイドです。内容については、打合せの上決めさせていただきます。

具体的なイメージがわからない場合は、ここに掲載されている実施例を参考にしつつ、現在の学習の進み具合などを考え合わせて、相談の上決定していきます。



当館を教育目的で利用するには

館内・館外いずれの活動でもご利用いただけます。

来館する場合は通常の展示観覧の他、体験的に学べる活動を提供します。

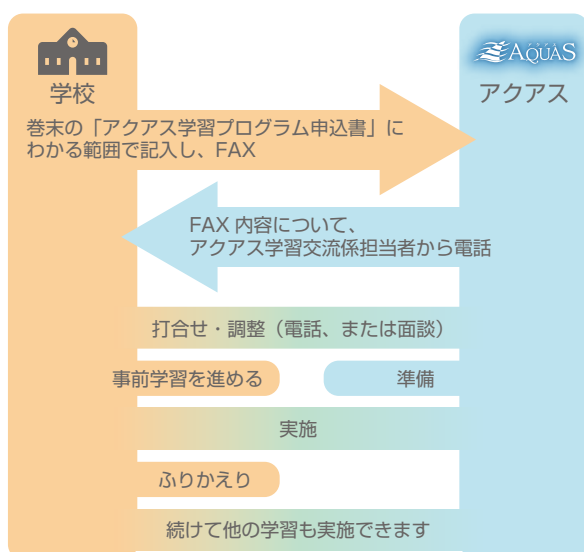
館外の活動は、学校、海、川など、内容に合わせた場所で開催します。いずれも申し込みが必要です。



実施までの流れ

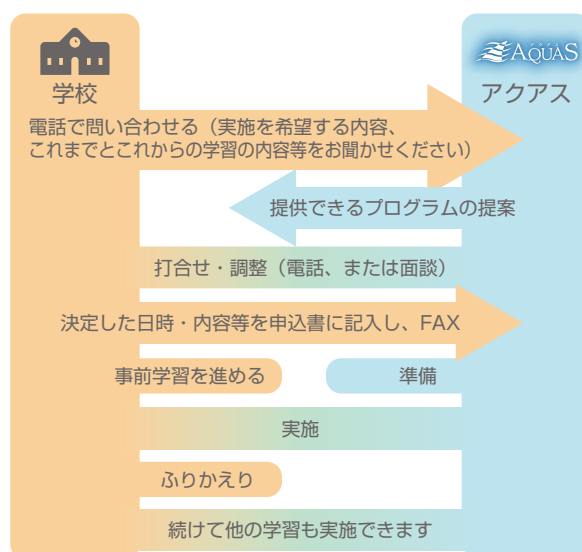
ある程度具体的な希望が決まっている場合

- アクアスへ遠足に行くのでバックヤードを案内してもらいたい
- 身近な川で観察会がしたい など



内容がはっきり決まっていない場合

- 教科書に海の生き物が出てきたけど、本物を見せてくれるかな
- 環境学習を進めたいが、どんな地域の素材をとりあげてどんなことができるかな



- 来館時のプログラム提供は、入館を伴う利用が前提です（入館料が発生しますが、一部減免が適用されます）。
- 講師派遣に伴う交通費・謝金は一切必要ありません（島根県内の学校教育活動に限る）。
- 活動の様子を撮影し、当館の事業紹介や報告・発表等に使用させていただくことがあります（配布対象は主に県内教職員や教育関係者です）。
- 日時は、相談の上決定させていただきます。

こんなことはありませんか？

- 近くの川で魚を捕まえたが、名前も飼育方もわからない
- 野外観察をしたいが、道具もなくやり方もわからない
- 水生生物の実物や標本を見て学習したいが、学校にはない
- ESD の要素が含まれた学習ができないか？

SDGs 達成のための取り組みを教えて

まずはお問合せください

お問合せ先

魚類展示課 学習交流係（直通）

0855-28-3614（9:00～17:00）

school@aquas.or.jp

教科と関連付けた利用例

当館利用の参考としていただけるように、利用例を一覧にしました。
例に挙げた教科以外でもご活用ください。

内 容 例	学 年	教 科	出版社	関 連 す る 単 元	来館 (要予約)	講師派遣 学校	野外		
<生き物の観察会> 身近な生物の観察を通して、いろいろな生物の特徴、その共通点を観察する活動です。 ・海（磯・砂浜・漁港など）の生物観察指導 ・学校周辺の川の生物観察指導（水質等指標生物調査） ・プランクトンの採集と観察指導 ・ワークシートを活用したアクアス展示生物の観察	小学校	1・2	啓林館	生きもの 大すき	◎		◎		
			啓林館	生きもの 大すき 大はっ見	◎		◎		
		東京書籍	いきものと なかよし	◎		◎			
		東京書籍	生きもの なかよし 大作せん	◎		◎			
	中学校	1	道徳	光村図書	ヤゴきゅう出大作戦			◎	
			理科	東京書籍	あたたかさ生き物	◎		◎	
			科学	東京書籍	いろいろな生物とその共通点	◎		◎	
				啓林館	いろいろな生物とその共通点	◎		◎	
		2	国語	大日本図書	生物の世界	◎		◎	
			光村図書	研究の現場ようこそ					
		3	国語	光村図書	クマゼミ増加の原因を探る	○	○		
			道徳	東京書籍	きれいな川	◎		◎	
<漂着物の観察会・お話> 人間活動が生物に与える影響についてお話します。 ・砂浜で漂着物や漂着ゴミの観察 ・漂着物からわかること ・海洋プラスチックごみの問題について ・SDGs 達成のために私たちができること	小学校	5・6	家庭	開隆堂	持続可能な社会のために	◎		◎	
			東京書籍	あたなは家庭や地域の宝物	◎		◎		
		4	道徳	光村図書	琵琶湖のごみ拾い	◎		◎	
			このままにしていたら	◎		◎			
		6	国語	東京書籍	「永遠のごみ」プラスチック	◎		◎	
			発信しよう、私たちの SDGs	◎		◎			
	中学校	理科	東京書籍	地球に生きる	○	○			
			地球と私たちのくらし	◎		◎			
		社会	東京書籍	世界の中の日本	◎		◎		
			光村図書	クジラとプラスチック	◎		◎		
		1	国語	光村図書	情報収集の達人になろう	◎	○	◎	
			道徳	東京書籍	海の豊かさを守ろう	◎	○	◎	
2	国語		東京書籍	地球環境と人間社会	◎	○	◎		
	東京書籍		地球と私たちの未来のために	◎		◎			
3	科学		大日本図書	地球の明るい未来のために	◎		◎		
	道徳		東京書籍	きれいな川	◎		◎		
	公民	日本文教	海のごみは「まちなか」で生まれる	◎	○	◎			
		帝国書院	よりよい社会を目指して	◎	○	◎			
家庭	東京書籍	地球的課題とその解決	◎	○	◎				
	東京書籍	地球社会と私たち	◎	○	◎				
	東京書籍	私たちの消費生活と環境	○	○					
	教育図書	消費生活・環境	○	○					
<海の生き物のお話> 教科書に登場する生き物や、児童生徒が関心を持っている生物について解説します。 ・写真や資料、生体を見せながら特徴についてお話 ・ワークシートを活用したアクアス展示生物の観察	小学校	1	国語	東京書籍	どうやってみをまもるのかな	○	○		
				子どもをまもるどうぶつたち	○	○			
				光村図書	うみのかくれんぼ	○	○		
				光村図書	いなばの白うさぎ	○	○		
	中学校	1	国語	東京書籍	自然のかくし絵	○	○	○	
				東京書籍	ヤドカリとイソギンチャク	○	○		
				光村出版	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	○	○		
				東京書籍	ネコだって推理できる	○	○		
	<生殖・発生・変態・子育てのお話> 写真やビデオ、実物を用いてお話します。 ・海棲哺乳類（シロイルカ、アザラシなど） ・魚類（サメなど）、イカ、貝など	小学校	5	理科	東京書籍	魚のたんじょう	○	○	
		人のたんじょう	○	○					
	中学校	3	科学	啓林館	生物のふえ方と成長	○	○		
	<生き物の飼いや育て方> 水生生物の飼育や観察の方法についてお話します。 ・飼育水槽のセッティング ・生き物の飼いや育て方 ・こんな時どうする	小学校	1・2	生活	啓林館	なつと なかよし	◎		◎
生きもの 大すき					◎		◎		
生きもの 大すき 大はっ見					◎		◎		
東京書籍					いきものと なかよし	◎		◎	
中学校		1	科学	東京書籍	生きもの なかよし 大作せん	◎		◎	
				いろいろな生物とその共通点	○	○			
				開隆堂	生物育成の技術	○	○		
				教育図書	生物育成の技術	○	○		
3		技術	東京書籍	生物育成の技術	○	○			
			東京書籍	生物育成の技術	○	○			
			東京書籍	生物育成の技術	○	○			
			東京書籍	生物育成の技術	○	○			
<魚の形と泳ぎ方> ・水の抵抗と魚の形 ・トビウオの飛行のしくみ	中学校	1	科学	東京書籍	いろいろな生物とその共通点	◎	○		
				東京書籍	生物のからだのつくりとはたらき	○	○		
<動物の特徴・分類・進化> 動物の特徴・分類についてお話します。 ・生体の観察（軟体動物、節足動物等） ・ペンギンや海棲哺乳類の写真、骨格標本等を用いて解説 ・魚・イカの解剖 ・ワークシートを用いて展示生物を比較しながら観察	小学校	4	理科	東京書籍	動物のからだのつくりと運動	○	○		
	中学校	1	東京書籍	いろいろな生物とその共通点	○	○			
			啓林館	いろいろな生物とその共通点	○	○			
			大日本図書	生物の世界	○	○			
			東京書籍	生物のからだのつくりとはたらき	○	○			
		2	啓林館	生物の体のつくりとはたらき	○	○			
			大日本図書	生物の体のつくりとはたらき	○	○			
			東京書籍	生命の連続性	○	○			
			啓林館	生命の連続性	○	○			
		3	大日本図書	生命のつながり	○	○			
			大日本図書	生命のつながり	○	○			



内 容 例	学 年	教 科	出版社	関 連 す る 単 元講師派遣	来館 (要予約)	講師派遣 学校	野外
<島根の生物・水産業> 島根にゆかりのある生物（希少淡水生物、サメ、ウミガメなど）や食卓に上る生物をとりあげ、私たちの生活とのつながりについてお話します。 ・ワークシートを用いた館内見学 ・自分たちとの関わりを考える活動、お話 ・サメとワニ漁、食文化	小学校	3	道徳	光村図書	生きている仲間	○	○
		4	社会	東京書籍	特色ある地いきと人々の暮らし	○	○
		5		東京書籍	わたしたちの生活と食料生産	○	○
<アクアスの仕事・施設のお話> インタビュー形式で、疑問にお答えします。 ・飼育・訓練・教育普及など、アクアスのお仕事 ・施設・運営 ・バックヤードの見学（仕事現場の取材）	小学校	1・2	生活	啓林館	とびだせ！町のたんけんたい	◎	
				東京書籍	どきどき わくわく まちたんけん	◎	
				東京書籍	みんなで つかう まちの しせつ	◎	
		3	社会	東京書籍	もっとなかよし まちたんけん	◎	
				東京書籍	わたしたちのまち みんなのまち	◎	
				東京書籍	はたらく人と わたしたちの暮らし	◎	
	中学校	6	国語	光村図書	仕事のくふう、見つけたよ	◎	
				光村図書	「働く」って、どういうこと？	◎	
				東京書籍	社会教育施設に行こう	◎	
<命のお話> 生き物たちの命について、水族館の仕事を通して感じたことをお話します。	小学校	4	道徳	光村図書	生きているしるし	○	○
		5		光村図書	命の詩一電池が切れるまで	○	○
<人間活動が環境・生物に与える影響> 危機にさらされている野生生物の現状について話題提供します。 ・絶滅危惧種について ・外来生物の影響について	小学校	4	道徳	光村図書	いのちをつなぐ唄	○	○
		6	国語	東京書籍	このままにしていたら	○	○
			道徳	光村図書	イースター島にはなぜ森林がないのか	○	○
	中学校	1	国語	東京書籍	クジラとプラスチック	○	○
				東京書籍	オオカミを見る目	○	○
				東京書籍	私のタンボボ研究	○	○
		3	科学	光村図書	絶滅の意味	○	○
				光村図書	報道文を比較して読もう	○	○
				啓林館	作られた「物語」を超えて	○	○
<生物や環境を守るために> 生物やそれを取り巻く環境についてお話しし、自分たちの暮らしをふりかえるきっかけを作ります。 ・身近な生物や、教科で取り上げた生物について ・環境に関するさまざまな取り組みについて	小学校	4	社会	東京書籍	生物の種類の多様性と進化	○	○
			道徳	光村図書	地球と私たちの未来のために	○	○
		5	社会	東京書籍	特色ある地いきと人々の暮らし	○	○
				光村図書	いのちをつなぐ唄	○	○
			道徳	東京書籍	このままにしていたら	○	○
				光村図書	わたしたちの生活と環境	○	○
	中学校	6	道徳	光村図書	一ふみ十年	○	○
				東京書籍	地球に生きる	○	○
				光村図書	クジラとプラスチック	○	○
		1	国語	光村図書	情報収集の達人になろう	○	○
		2	国語	光村出版	モアイは語るー地球の未来	○	○
				東京書籍	アイスプラネット	○	○
				東京書籍	地球環境と人間社会	○	○
		3	科学	東京書籍	地球と私たちの未来のために	○	○
				東京書籍	地球社会と私たち	○	○
				帝国書院	よりよい社会を目指して	○	○
<野生生物の調査> 当館が行っている調査活動についてお話します。 ・ストランディング（漂着・迷入）生物の調査 ・ウミガメに関する調査 ・希少淡水生物の調査 ・生物の調査方法、データの扱い方	中学校	1	国語	光村出版	地球学的課題とその解決	○	○
		3	科学	開隆堂	消費生活・環境	○	○
				東京書籍	私たちの消費生活と環境	○	○
<いのちのつながり> お話やワークショップを通して解説します。 ・生き物どうしの関係 ・多様性 ・食物連鎖	小学校	5	道徳	光村図書	三十八億年の命	○	○
		6	国語	東京書籍	海のいのち	○	○
			理科	光村図書	海の命	○	○
				東京書籍	生き物どうしのかかわり	○	○
	中学校	3	科学	光村出版	命の旅	○	○
				学研	地球と地域の未来のために	○	○
				東京書籍	生命の連続性	○	○
				啓林館	地球と私たちの未来のために	○	○
		3	道徳	大日本図書	生物の連続性	○	○
				大日本図書	生命のつながり	○	○
				大日本図書	自然界のつながり	○	○
				東京書籍	きれいな川	○	○
<海と森のつながり> 身近な生き物を題材に、海と森のつながりについてお話します。	小学校	5	社会	東京書籍	気候変動と生物多様性	○	○
	中学校	3	道徳	日本文教	わたしたちの生活と環境	○	○
				日本文教	海のごみは「まちなか」で生まれる	○	○

◎：可 ○：適

- いずれの内容も、環境学習と関連付けて行うことができます。
- 内容は打合せの上、決めさせていただきます。児童生徒の関心、活動のゴールなど考えあわせ、相談の上決定していきます。いくつかの活動を組み合わせたり、複数回にわたり実施することもできます。
- 人数・時間・担当者などの都合により、実施できない場合があります。ご相談ください。

教科と関連付けた利用例

教科書の内容と関連させた活動を提供しています

小学校3年生 国語科

『自然のかくし絵』

海や川の生き物の色についてお話します。事後学習では、説明文を書いて紹介することが多いようです。

海(川)の生き物の擬態について

周りに似せた色、物を身体に付けて隠れる工夫などについてお話します。生体や写真を使って解説します。

色の役割

隠れるためだけでなく、目立つことで役に立つこともあります。生き物たちの工夫について、写真を用いて解説します。

アクアスの展示水槽観察

ワークシートに従い、隠れている展示生物に注目する活動です。



小学校4年生 国語科

『ヤドカリとイソギンチャク』

ヤドカリやイソギンチャクという生き物についての解説や、共生について例を挙げて説明します。4年生でとりくむ環境学習の入口となる内容です。

身近なヤドカリ、身近なイソギンチャク

身近に見られるヤドカリやイソギンチャクについて、生体を観察します。

海の生き物たちの共生について

共生にはどんな形があるか、写真を用いて紹介します。



小学校5年生 理科

生き物の誕生

命の始まりにはいろいろな形があること、命をつなぐために生き物たちが工夫していることなどをお話します。

卵で生まれる生き物

サメやイカ、ペンギンなど、様々な生き物がどんな卵を産むのか、実物や写真を使って解説します。

子どもを産む生き物

魚類の中でも子どもを産む魚を紹介し、様々な生き残りの工夫について解説します。

哺乳類の出産

当館のシロイルカ・カリフォルニアアシカ・ゴマフアザラシの出産についてお話します。胎児のエコー画像や、出産時の映像を用いて解説します。



小学校4年生 社会科

小学校5年生 社会科

島根県で漁獲される生物

県内の水産資源について、自分たちの地域や食生活と関連付けてお話します。自分たちと海が、食べ物を通じてつながっていることを認識し、自分たちの暮らしが環境や生態系に少なからず影響していることに気付けます。

県内で水揚げされる生き物

写真を用いて、どのような生き物が水揚げされるのかを解説します。

ワークシート見学(来館された場合)

水槽の中の実物の魚と、お店や食卓で見られる魚たちをつなげて考えながら見学します。



小学校4年生

理科

中学校2年生

科学

動物のからだ

本物の魚や標本を観察しながら、動物の体のつくりを学習します。

魚やイカの解剖

魚やイカの体のつくりについて、外見を観察するだけでなく、触ったり、解剖したり、体験を通して学習していきます。体のつくりの解説には模型や標本、写真などを用います。



海の哺乳類の体

骨格標本や剥製を用いて、体のつくりを解説します。

中学校1年生

科学

中学校2年生

科学

観察と分類

水生生物の生体や標本を観察しながら、動物の体のつくりを学習します。

生体の観察

軟体動物、節足動物、棘皮動物、刺胞動物など、生体を観察しながら分類していきます。体のつくりの解説には模型や標本、写真などを用います。



総合的な学習の時間

身近な川を調べる

身近な環境を知ることは、環境学習の第一歩です。環境へのアプローチを考える上で、正しい知識が必要です。少人数の場合はワークショップを組み合わせて行う場合もあり、自分たちで環境に対する行動を決定するよう導きます。

身近な生き物探し

水生生物の観察を指導します。観察・採集道具（網、バケツ、プラケースなど）はこちらで用意します。安全管理は基本的に学校側でお願いしますが、活動場所の下見など事前調査に同行させていただきます。



身近な生き物調べ

図鑑や資料はお持ちします。見つけた生き物のすみか、食べ物、くらし方なども調べていきます。飼育をしたい場合はその方法も解説します。

※飼育を希望される場合は、①現地での生物観察（その場で放流）→②飼育方法の指導→③水槽準備→④現地での生物採集といった流れで実施することをお勧めします。どんな生き物がいるかを調査し、その生物の生態や飼育方法を理解し、水槽の準備をした上で、生物の飼育を開始することが望ましいためです。



水質検査

河川の水質の指標となる生物を調べ、採集されたその他の生物も考え合わせて河川の環境を評価していきます。単に水質が良い、悪いではなく、多様性を重視した考え方に導きます。



発展

流域で考える学習

地図などを用いたワークショップを行います。河川の環境を考えるには、いろいろな立場の人の合意形成と、流域での取り組みが必要であることを学習します。



その他にも活用できます！体験的な活動 実施例

子ども達の関心にあわせて、様々な活動を提供しています。
(一度に実施できる人数に限りがあります。所要時間も内容により変動します。ご相談ください。)

① 来館しての活動

ワークシートを用いた館内見学

大規模校などで全員に体験的な活動を提供するのが難しい場合は、観察テーマに沿ったワークシートを作成することができます。(内容は応相談)

生き物観察クイズ

水槽の生き物から私たちにできるSDGs達成のための行動を考えます。



バックヤード見学

仕事現場の見学をします。命を扱う上での細心の注意や、展示へ込めた思い、仕事の苦労話などを盛り込みます。テーマにあわせ、取材形式で行うこともできます。



シロイルカトレーニング見学

※所要時間は約15分、80名程度まで一度に見学できます。



お魚キーパースペース見学

※所要時間は約30分、15名程度を2グループ同時に実施できます。

② 島根県の身近な生き物について

身近な海の生き物クイズ

主に低学年児童対象の活動です。身近な磯の生き物についてのクイズに、生体や標本を使って答えを探っていきます。海の活動の入門編として活用できます。また、海から離れた学校の児童に、海の生き物を紹介するプログラムとしても利用できます。



海藻おしば作り

海藻についての解説を行った後、カラフルな海藻を利用しておしばを作ります。季節によっては、実際に海藻を採集に行くと、より学習が深まるでしょう。

※所要時間は30～60分程度です。作成したおしばはその場で持ち帰れますが、完成させるまで1週間程度、乾燥させる作業が必要です。



ウミガメのお話

ウミガメについての知識だけでなく、当館が行っている取り組みなどもあわせてお話します。環境学習を進めている学級には、その内容に関連付けてお話します。



ウミガメってどんな生き物？

実物の骨格や標本を用いて解説します。



島根県のウミガメについて

ご存知ですか？島根県の海にはウミガメが生息しているだけでなく、砂浜へ産卵にあがってくることもあるのです。県内で撮影した、映像や写真を用いてお話します。

しまね海洋館で行っている調査活動について

当館で取り組んでいる、ウミガメ調査についてお話します。

発展

自分たちの暮らしがウミガメに与えている影響について考える

ウミガメを取りまく様々な困難について、自分たちとの関わりを見つけ、自分たちにできることを考えます。海の近くの学校だけでなく、山や川の環境を守ることがウミガメの保護につながることも気づかせます。

③ フィールドでの観察会

磯の生き物観察

本物がいっぱい、天然の水族館観察です。危険な生き物についての解説や、安全に活動すること、生き物への配慮についてもお話します。生物を実際に採集し、調べてみて、海という生態系について学んでいきます。観察・採集道具などは当館からお持ちします。(潮位を考慮して実施しています。日程は余裕をもって計画してください。)



プランクトンの観察

漁港・池・ビオトープなどでプランクトンを採集し、顕微鏡で観察します。季節により様々な種類のプランクトンを観察することができます。プランクトンが生態系を支える重要な存在であることについても、あわせてお話しします。



漂着物の観察

生物の死骸や殻を始め、ゴミや流木、木の実など、流れ着いている様々なものを観察します。当館で収集した漂着物も使用し、どこからきたのか、環境への影響等を考えていきます。

※所要時間は1時間～1時間半程度です。



④ 来館や観察会実施が困難な児童生徒のための ICT 機器を活用した授業

実際に来館や現地へ行くことが困難な児童生徒に、より体験的に生き物の生態を学んでもらうことができます。

ICT 機能を活用したオンライン水族館見学

スマートグラスやテレプレゼンスロボットを活用して遠隔で水族館を見学し、生き物の生態を学べます。

※スマートグラス：スマートグラスを装着した人の目線で動画が配信できるほか、音声でのやり取りができます。Zoomでつながることができます。

※テレプレゼンスロボット：遠隔で操作できるアバターロボットです。Zoomでつながります。



ICT 機器を活用した事前学習

生き物を連れて学校へ訪問授業をする際、事前学習として磯から観察会を中継します。実際に現地へ行くことが困難な児童生徒に、より体験的に生き物の生態を学んでもらうことができます。Zoomでつながります。



⑤ 指導者向け研修会・観察会（教員研修会等）

生物観察方法の指導

生物の観察方法について、フィールド（海・川など）に出向いて指導します。安全管理についてお話しするほか、観察に必要な道具、あるといいものなども紹介します。



生物飼育の指導

メダカをはじめ、学校で飼育する生物について、飼い方、繁殖方法などについて解説します。簡単にできる水槽のセッティング、注意事項、飼育生物の発病時の対応等についてお話しします。



利用について

開館時間 9:00～17:00 (夏休み期間は18:00まで)

休館日 毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日) 春・夏・冬休み及びGWは無休

館内の関連設備

① レクチャーホール (入館及びプログラム利用を伴う予約が必要です。)

プロジェクター、スクリーン、音響設備を完備しています。映像の使用が可能です。
机・椅子を使用する場合は40名程度まで、使用しない場合は100名程度まで活動できます。

注意 レクチャーホールのみの使用は原則としてできません。



② 昼食場所

館内では決められた場所以外での飲食をご遠慮いただいております。
アクアスは、何度でも再入館できます。

注意 ※場所確保の予約はできません。

館内で食べるなら…



お弁当広場

ペンギン館
出ですぐ

屋根、
ベンチが
あります

外に出て食べるなら…



芝生広場

アクアス2階公園側
出口より階段をあがります
※トンビにご注意ください

雨天時は、周辺の施設をご利用ください



マリンハウス

軽食・喫茶・無料休憩スペース
アクアス2階海側出口より
はっしータワーを渡る



観光情報コーナー

無料休憩室
アクアス玄関外
公園管理センター内
※敷物が必要です

費用について

① 講師派遣や体験活動に関わる費用

(講師料・交通費等) は必要ありません。

島根県内の学校教育活動に限りです。

釣り餌・工作材料等の購入費を負担していただく場合があります。ご確認ください。

② 来館されて実施する活動は、 原則として入館を伴う利用が対象です。

入館料以外の費用は必要ありませんが、
材料費などを負担していただく場合があります。
ご確認ください。

③ 利用目的に応じて入館料の減免を行っています。

学校教育課程に基づいた利用の場合は、
減免の対象となります。(あらかじめ申請が必要です。)

通常の入館料

大人 …………… 1,550円

小中高生 …… 500円 ▶

幼児 …………… 無料

学校教育課程に基づいた利用の場合

引率教員 …………… 無料

児童生徒 …………… 400円

幼児 …………… 無料

※親子遠足などの場合、保護者は有料です。

プログラムに関するお問合せ

しまね海洋館学習交流係

【9:00～17:00】

0855-28-3614

school@aquas.or.jp

入館料・予約等に関するお問合せ

しまね海洋館経営課

【休館日を除く 9:00～17:00】

0855-28-3900

しまね海洋館 入館料等減免申請書

公益財団法人 しまね海洋館 館長 宛

令和 年 月 日

下記のとおり入館料の減免を受けたいので申請します。

※太枠内のみ、ご記入ください。

申請者の住所 (団体の場合は事務所所在地)		〒 -		学校印	
氏 名 (団体の場合は名称および代表者氏名)				施設印	
電 話 番 号	() - ()	FAX番号	()		
来館予定日	令和 年 月 日 () 曜日	時 分 ~ 時 分			
来館予定人数	一般 人 (そのうち 引率・介護 人)	小中高生	人	園児・幼児	人
支払方法	現金 ・ クーポン券 ()	来館方法	バス ()	台) ・ 自家用車 ・ JR ・ 徒歩	人
減免申請の理由					
☐ 学校教育 (小中高) 教育課程に基づき、教育活動として教職員に引率され観覧する場合 学校行事の名称 ()					
☐ 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方					
☐ 介護者 上記手帳をお持ちの方の介護者 【手帳所持者 1 名につき 1 名】					

※写真館等の方が営業行為で公園内にて写真撮影される場合は、島根県への「行為許可申請」が必要となります (アクアス館内のみでの撮影については、申請の必要はありません)。
「行為許可申請」のお問い合わせ先：島根県浜田県土整備事務所 管理第二係 ☎ 0855-29-5648)

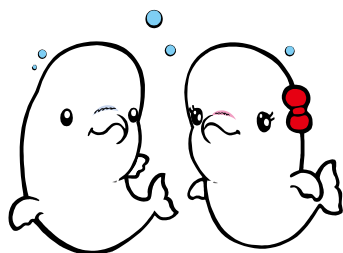
館 長	経営課長	課 員	受 付

※ご記入後、アクアスまでFAXしていただきますようお願いいたします。
※本書は来館当日に総合案内所へご提出ください。

お問合せ先：公益財団法人 しまね海洋館 〒697-0004 島根県浜田市久代町1117-2

FAX送付先: 0855-28-3610
電話: 0855-28-3900

申込日 年 月 日



アクアス学習プログラム申込書 (学校団体用)

太枠内にわかる範囲でご記入の上、FAXしてください。(表書不要)

しまね海洋館 FAX : 0855-28-3610

※内容を確認の上、こちらからご連絡差し上げます。

学 校 名				学 年	
学校住所	〒				
電話番号	()	—	FAX番号	()	—
担当者名					
来館・実施日時	年	月	日	曜日	時 分 ~ 時 分
実施場所	アクアス・学校・その他 ()				
人 数	引率教員	人	児童・生徒	人	その他 人
研修目的と内容				事前学習の内容	
来館される場合	バックヤード見学の希望 有 ・ 無			バスで来られる場合 台	
備 考					

アクアスの担当者	
----------	--

館 長	経営課長	経営担当	課長	係長	魚類課長	学交係長	学交担当